

我が社の雇用事例

FUJI SPRINGS 富士発條株式会社

企業DATA

代表者	代表取締役 藤井 啓
所在地	〒669-5265 兵庫県朝来市和田山町筒江165-51
従業員数	600名（うち障がい者10名）
URL	https://www.fuji-springs.co.jp/



当社は、1959年に富士発條製作所として創業、翌1960年に富士発條株式会社を設立し、本年で創業65周年を迎えます。数人が手作業でバネをつくっていた家内制手工業の時代。高度成長期における家電部品などの製造。プレス加工による電池部品分野への拡大。深絞り加工による角形アルミ電池ケースへの挑戦。未知のジャンルであった車載用部品ビジネスへの事業展開。富士発條の歴史は、正に「変革」の歴史でした。さらに「100年企業」を目指すためには、広い世界へと飛翔し、常に「変革」し続けるしなやかな心をもって成長を続けています。

インタビュー

障がい者を特別扱いせず 健常者と同じ仕事を行ってもらっています。

● 障がい者雇用の状況

障がい者雇用の増員への受入について、障がい者雇用率改善方法を模索していたところ、NPO法人などからのご紹介頂くことがきっかけとなりました。現在は障がい者10名（男子：7名 女子：3名）、内重度障がい者は5名です。車いすの方はいませんが、歩行器を使って作業してる方はおられます。また、それぞれの障がいに合わせて身体的に負担がかからない様、対象者に合う治具を使用したり、理学療法士の方に来ていただいて作業時の動作確認もしていただいております。

人事部門社員には、障がい者について理解力を高めるためのセミナー受講を通じて身体障がい者のみならず、受け入れ先である部署と連携し、幅広い障がい者雇用を視野に受入課題を解決したいと考えております。

なお、現在はNPO法人、就労支援機関やハローワークでの募集が主になっていますが、今後は特別支援学校などとの連携も進めていきます。

当社は、障害者を特別扱いしない考えから、健常者と同じ初任給基準で採用しています。また、その後もそれぞれの成長によって昇給が決まっています。



コイル加工製品

●障がい者が活躍している業務内容は

原則として製造ラインになります。受け入れは、身体障がい者の環境整備を優先しました。

例えば、工場内の通路は転倒などに配慮したバリアフリー化やトイレを改装しています。

但し、全ての環境への対応は完了していませんので、実際に働いてもらう場所は、作業の安全性を重視して作業の場所を限定しています。

具体的には、作業場所もエレベーター施設のある環境等を考慮しています。また、ライン作業箇所も障がい者の動きに合わせたタイミングで仕事出来るよう工夫にしています。男性は製造ラインや梱包のラインで業務をしている方が多く、女性は最終検品の部署で業務をしていただいています。

最終検品エリアはお客様への納品前の重要なエリアですが、製品を厳しい目で見て正確に作業してもらっており、安心してお任せ出来る状態です。現在は車のEV用の電池部品を多く製造しており、日々製品が進化し確認する部分も多くなっていますが、定期的に力量評価を実施し、正確に作業していただく必要があります。

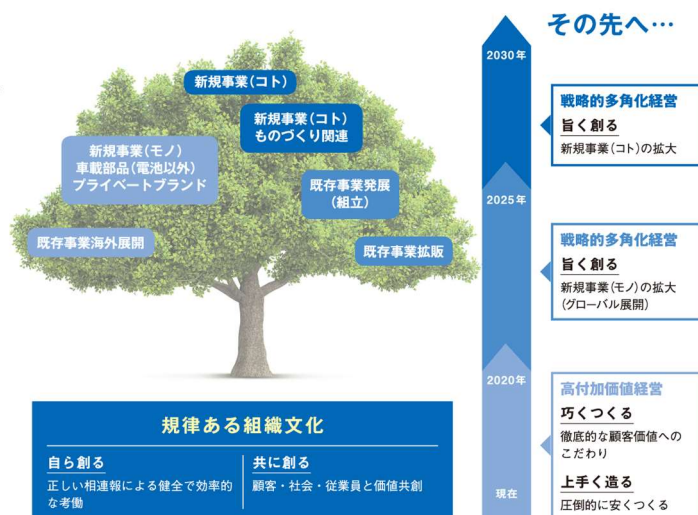
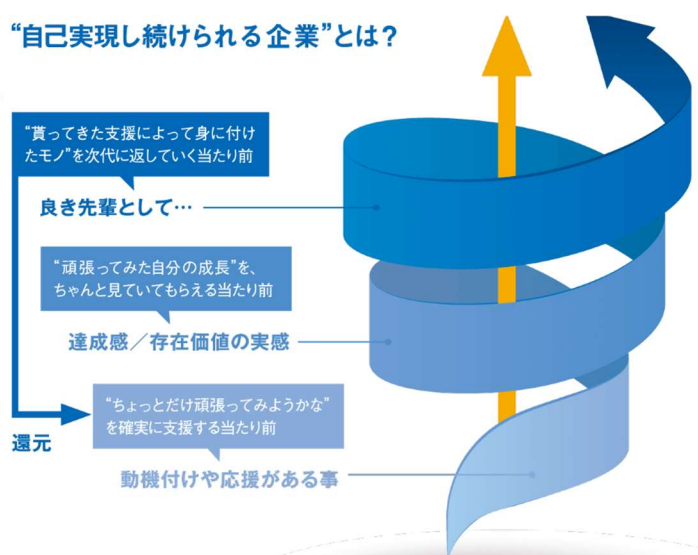
●障がいのある従業員のスキルアップ

障がい者として特別扱いほしないという方針で、原則として健常者と同様に対応しています。自分達は障がい者だから出来ないではなく、健常者と同じ環境で障がい者としての目線から業務を考えていく事で様々な課題も見えてくるように感じています。

特に改善提案制度（一部奨励金制度もあり）では、障がい者としての目線から出る提案には、なるほど！といったことも少なくありません。また、分からない事などがあれば上司はメンバーの声に耳を傾けて、解決するまで対話をしてスピーディーに解決策を導きだしています。その結果、タイムラグが少なくなり全体のスキルも徐々に上がってきて10年、20年と勤務を続けていただいている障がい者もいます。

面談も3か月単位で振り返りを行い、現在の目標に対しての進捗確認などを定期的に行っています。また、キャリアチェンジの制度を利用して新しい仕事にチャレンジできる環境も整えています。

“自己実現し続けられる企業”とは？

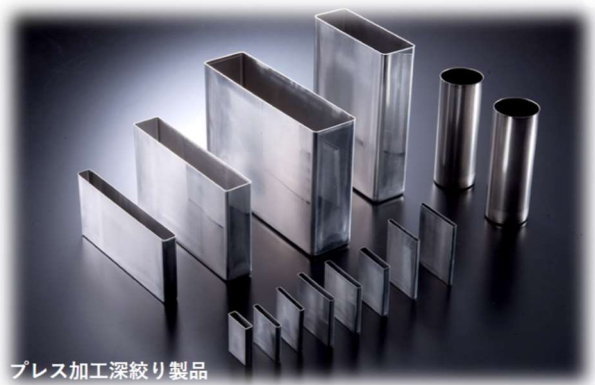


●今後の障がい者雇用の展望

今後は特別支援学校や支援機関などとの連携をより深めて、製造部門だけでなくデスクワークの仕事など職種の拡大を計っていきたいと考えています。

また、現在は身体障がい者雇用のみですが、今後は幅広く障がい者の方の採用に取り組んでいきたいと考えています。そのためにも、仕事面だけでなく、コミュニケーションのあり方についても考えていきたいと思えます。

当社は、但馬地域では従業員数が多い企業であり、今後も障がい者雇用に責任をもって取り組んでいきたいと考えています。



プレス加工深絞り製品



フォーミング加工製品

勤務されている松尾 太郎さんのコメント

私は、富士発條株式会社に勤めて6年目になります。ハローワーク経由での入社です。入社当時は事務職の業務を行っておりました。業務内容は、データー入力や電話対応などが主な仕事でした。

当初は、電話の内容で戸惑う場面もありましたが、先輩たちの様々なサポートもあり、最終的には自分の力で完結できる所まで成長できたかなと感じています。これも私を信じて一から教育していただいた諸先輩達の方のフォローのお陰だと感謝しています。

また、自分の成長を試す意味で、事務の業務も安定してきた4年目の時に新しい業務へとチャレンジしてみようと相談し、製造部門の仕事に移りました。私は下半身に障害がありますが、杖を使えば片腕での業務が可能であり、両手での作業の時には下半身を固定できる環境で作業しています。

私の異動に伴い、製造ラインでは私が安全に作業出来る働きやすい環境を構築していただき、業務スピードもアップしてきました。

今はこの製造ラインの業務で一人前になって、さらに新しいお仕事につなげられるように日々経験値を積み重ねています。

今後も自分の力の可能性を信じて会社に対する貢献度を高めていきたいと考えています。

